保育園・幼稚園・子育て施設の紹介コーナー ②

すくすくひろば

子どもは、私たちの大切な宝物。でも一人で子育てしていると不安になったり、悩んだり、辛くなったり…そんな時、誰かと気軽に話し合えたり、笑い合えたりしたら、気持ちが楽になりますね。私たちは、みんなで子育てを支え合える「子育ての広場」を目指しています。

東部子育て支援センター「すくすくひろば」は、0歳から就園前の子どもとその保護者が、自由に遊んだり交流し、情報交換のできる出会いの広場です。また、育児に関する学習の場や、子育ての情報提供・母親のリフレッシュの場としても、いろいろな行事を行っています。

「絵本の読み聞かせ」のようす

毎月、それぞれ専門の指導者の方をお迎えし、育児座談会・子育て勉強会・子どもの絵の会・折り紙遊びなどの講座を開催したり、親子で楽しむリズム遊びや絵本の読み聞かせ、壊れたおもちゃを修理する「おもちゃドクター」なども好評です。

育児相談も受け付けておりますので、お一人でも気軽に、また、お友達を誘い合いながらぜひお出かけください。

「すくすくひろば」は、市民の皆さんの『子育ての広場』です。

すくすくひろばは月～土曜日まで開放しています。気軽にお寄りください。

一生懸命

2人の夢がかなった全国大会 エアロビクスは「人生そのもの」

太田知文さん、真也さん（大日向）

太田さん夫婦は、今エアロビクスに一生懸命。

知文さんは昨年全日本アマチュアエアロビクス連盟主催の甲信越大会・男子サーキットの部で優勝し、全国大会へ出場した。競技では足を高く上げる、片足でのバランスなどを含む技術点、表現力などの芸術点が審査され高い得点を得た。

知文さんがエアロビクスと出合ったのは4年前。体力づくりに「何かしたい」と行動を始めたのがきっかけ。初めて踊った時は恥ずかしく抵抗もあったが、想像以上に全身を動かす運動に驚いた。「全身を使って運動するので気持ちがいいし、ストレスも発散できる。」と話すとおりその魅力に入っていった。

長野県フレッシュライトカップに出場した真也さんを応援に行った時、他人の演技を見てから、知文さんは本格的にエアロビクスにうち込み始め、2人は夢を持つ。

「夢は全国大会出場。」

それからは練習と小大会などを経験し、自らの演技をチェックしていった。その結果、その夢が昨年叶い、2人はともに喜びを分かち合った。

「エアロビクスで性格も考え方も変わりましたね。プラス思考になったし、くよくよしなくなった。」と話すように人は体力もあるとチャレンジできるもの。行動ができると前向きに考え、諦めない気持ちが自分を成長させてくれる。

真也さんはエアロビクスを6年前に始め、現在ではインストラクターとして自らの技術を高めている。その一方で、知文さんの指導者として、また妻としてサポートしている。

「主人が活躍してくれるのが私の夢。」と笑みがこぼれた。

2人にとってエアロビはまさに「かけがえのない、人生そのもの」である。

夢が叶った2人。しかし、これからも挑戦は続く・・・。

今年は8月に甲信越大会が行われる。常に余念はない。

Smile スマイル とうみ No.2

尾山恵子さん（上八重原）

- **今の仕事のやりがいは・・・** 現在は総務関係の仕事をしています。相手の立場に立ち、より皆が気持ちよく、そして効率良く仕事ができるような環境になるよう努めています。
- **夢は・・・** バイクの中型免許を持っているので、アメリカを横断したいですね。できれば30代にできたらと思っています。
- **理想の人は・・・** 同じライン、同じ価値観を持てる人。気持ちの上で対等に並んで歩いていける人がいいですね。
- **好きな言葉は・・・** 理想の人に近い答えかもしれませんが、「半分こ」です。楽しいこと、嬉しいこと、悩んでいること、悲しいこと、苦しいこと1人で思うよりも2人で共有したいと思うことからかな。
- **東御市に望むことは・・・** 最近起こった小学生同士の殺傷事件など、悲しい事件の低年齢化が進んでいます。勉強も大事だけど、人としての道徳をしっかりと教えたり、将来を担う子ども達が安心・安全に暮らせるまちづくりを積極的に行って欲しいです。

学校だより

東御市になって

※今月は滋野小学校と東部中学校の皆さんに「東御市」になって思うことを作文していただきました。

滋野小学校

六年一組
篠原みづき（中屋敷）

私が東御市になってこんな市になって欲しいと思っていることがあります。それは、「みんなが仲良しで、とても元気な明るい市」になって欲しいということです。

そのためには、子どもから大人、お年寄りまで、市民全員で楽しめるような大運動会やハイキング、お祭りなどが計画されたらいいなと思います。そうすれば、さらに「仲良し」で「元気」、「明るい」東御市が出来ていくと思います。

あいさつあふれる東御市

六年二組
上原　悟（原口）

ぼくは、東御市になってカッコいい名前の市になったと思います。そこで東御市をもっとカッコよくするために、「あいさつあふれる東御市」にしたいです。だれにでも自分から積極的に元気よくあいさつをする人ってカッコいいと思います。そういうあいさつのできるカッコいい東御市を目指し、ぼくもあいさつを心がけ、東御市にたくさん友達を作り、いろんな人と交流していきたいと思います。

東部中学校

一年三組
小林芽衣（海善寺）

私たちは、東御市が誕生した年に中学校に入学しました。まだ東御市の名前には慣れないけれど、緑がたくさんあるこの市が好きです。

東御市が発展してゆくのと一緒に私たちも成長していけたらいいと思います。遠く離れて暮らしても、いつかは戻ってきたくなるような市になって欲しいです。

三年七組
白鳥敬洋（田中）

まだ東御市になったばかりで、あまり実感がないのですが、中学校の校舎もきれいになり、新しい市の出発に東部中学校の今年度の生徒会活動のテーマ「心・真・進」は、ちょうど合っているなと思います。

この「心・真・進」は、すべてを大切にする心、新たなる挑戦、目標達成に向かって進むという3つの意味があります。新しく誕生した東御市も、そこにいる全ての人が大切にされ、市として旧北御牧村と旧東部町が本当に一つになれるといいなあと思います。

今はまだなりたてなので、どんなふうに書いたらいいのかよく分かりませんが、「自分たちの市だなぁ」という思いがこれからたくさん持てるといいと思います。